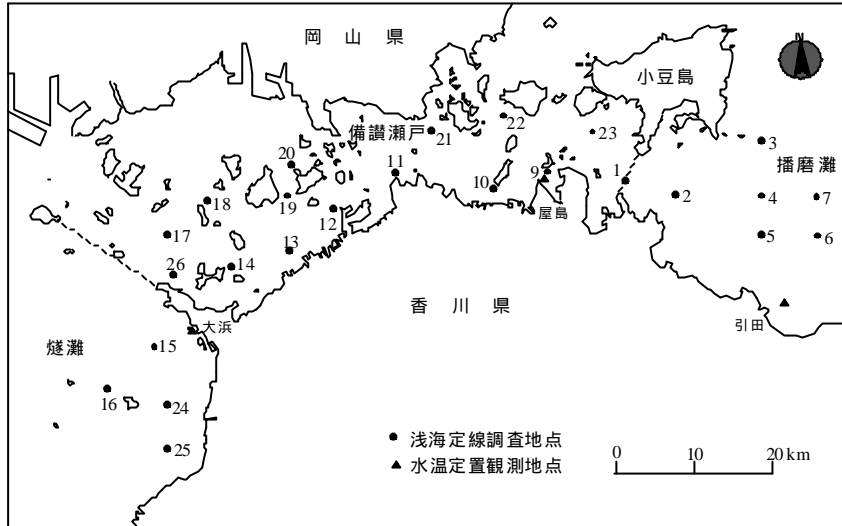


# 香川県漁海況速報 平成15年2月 (H14-11号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成15年2月4日(播磨灘)、3日(備讃瀬戸、燧灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや低めから平年並み」、塩分は「かなり高め」、透明度は「かなり低めから平年並み」、溶存酸素は「平年並みからかなり高め」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	8.6	8.5	8.4	33.5	33.6	33.7	9.4	6.96	6.90
	平年値	9.1	9.1	9.2	32.7	32.6	32.7	9.3	6.44	6.38
	平年偏差	-0.6	-0.6	-0.8	0.8	0.9	1.0	0.1	0.52	0.52
	状況	平年並み	やや低め	やや低め	かなり高め	かなり高め	かなり高め	平年並み	かなり高め	かなり高め
備讃瀬戸	14地点平均値	8.7	8.6	8.6	33.7	33.8	33.8	4.8	6.78	6.84
	平年値	9.0	9.0	9.1	32.8	32.8	33.0	6.3	6.36	6.36
	平年偏差	-0.3	-0.3	-0.5	1.0	1.1	0.8	-1.5	0.42	0.48
	状況	平年並み	平年並み	やや低め	かなり高め	かなり高め	かなり高め	やや低め	やや高め	かなり高め
燧灘	4地点平均値	9.4	9.3	9.2	33.9	33.9	33.9	5.3	6.72	6.74
	平年値	9.7	9.8	9.7	32.9	33.0	33.0	7.5	6.63	6.52
	平年偏差	-0.3	-0.5	-0.4	0.9	0.9	0.8	-2.2	0.09	0.22
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	かなり高め	かなり高め	かなり高め	かなり低め	平年並み	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

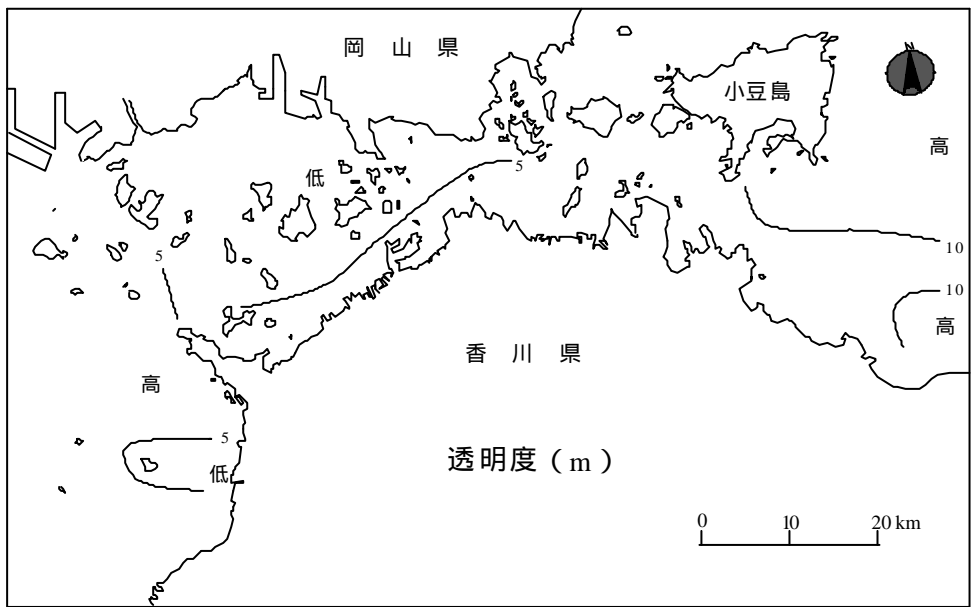
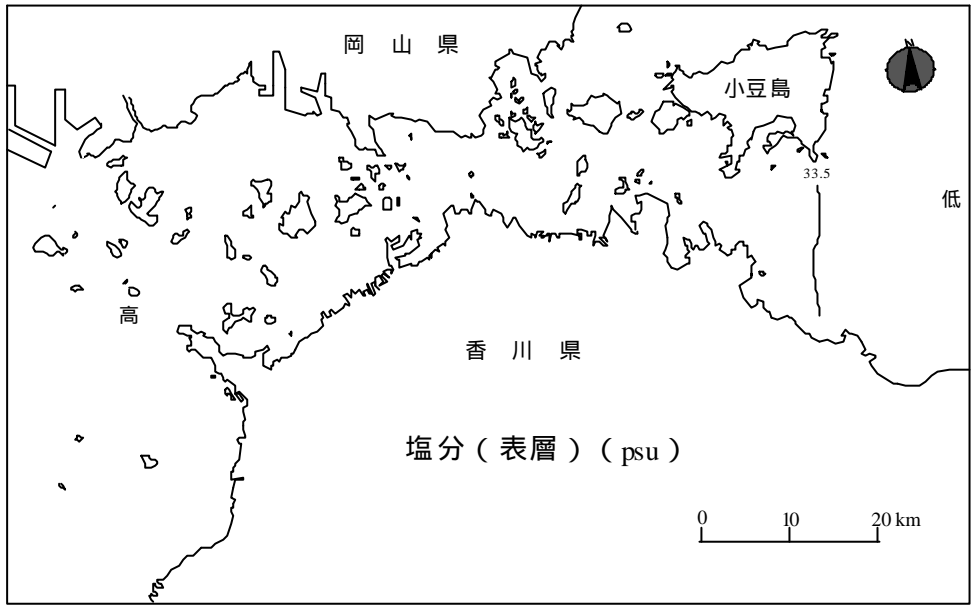
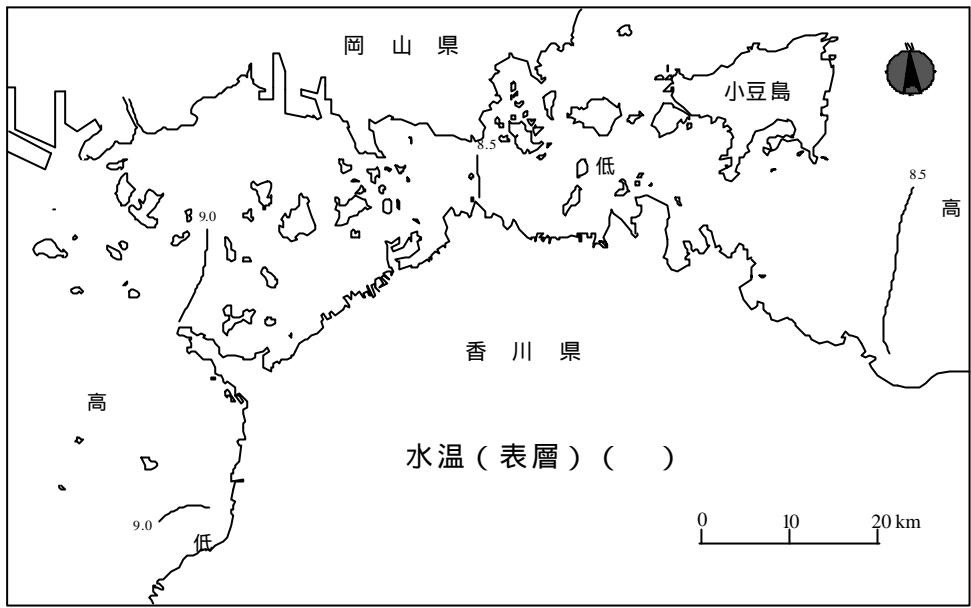
平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成8(1996)年度

透明度：昭和58(1983)～平成8(1996)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6
やや高め(やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3
かなり高め(かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0
著しく高め(著しく低め)	2.0	平年偏差
		: 標準偏差



2) 定置観測(水温)

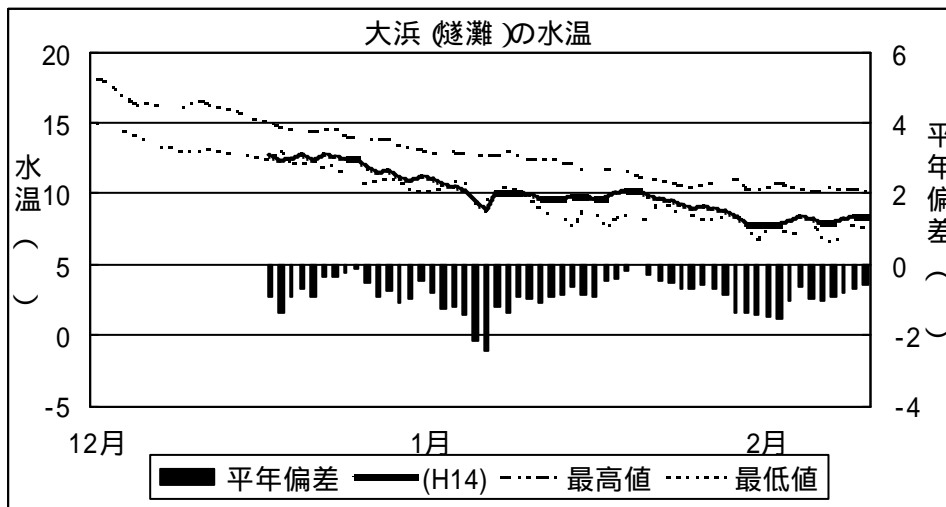
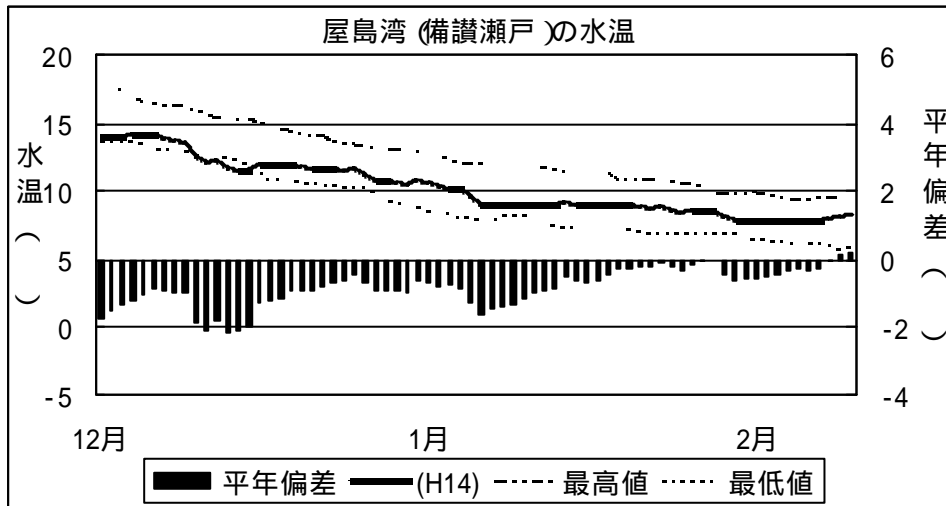
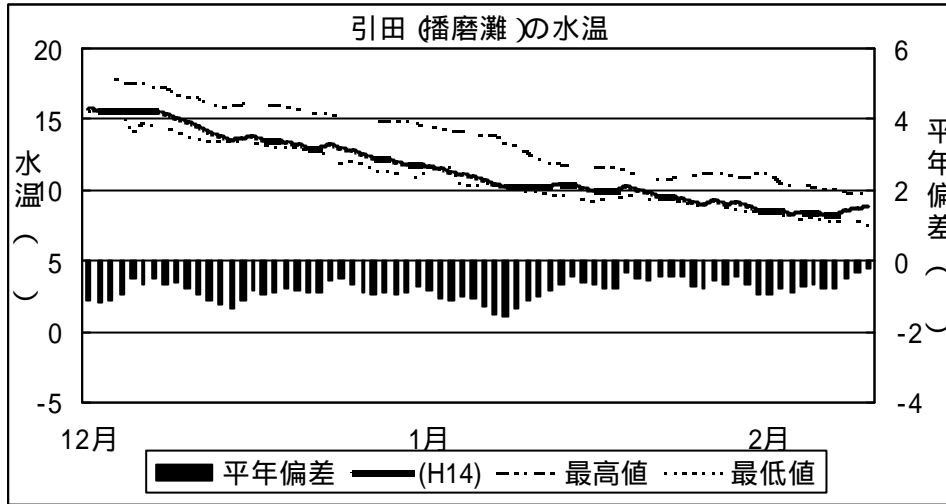
播磨灘(引田): 12月中旬に - 1.5 前後で推移していた平年偏差が1月中旬よりやや小さくなり - 1.0 前後で推移していたが、2月に入り更に小さくなってきている。

備讃瀬戸(屋島): 12月中旬に - 2.0 で推移していた平年偏差が変動しながら徐々に小さくなり、2月上旬には平年水温を超えた。

燧灘(大浜): 1月上旬に - 2 程度あった平年偏差が - 1.5 から 0 の間で変動している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成12(2000)年

屋島: 昭和50(1975)~平成12(2000)年



3) 赤潮

播磨灘：発生なし。  
 備讃瀬戸：発生なし。  
 燧灘：発生なし。

4) 卵稚仔

調査日：平成15年2月4日（播磨灘）、3日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.63
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.20
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75
総平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.96

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	-	-	0.0%
備讃瀬戸平均	-	-	-	0.0%
燧灘平均	-	-	-	0.0%
総平均	-	-	-	0.0%

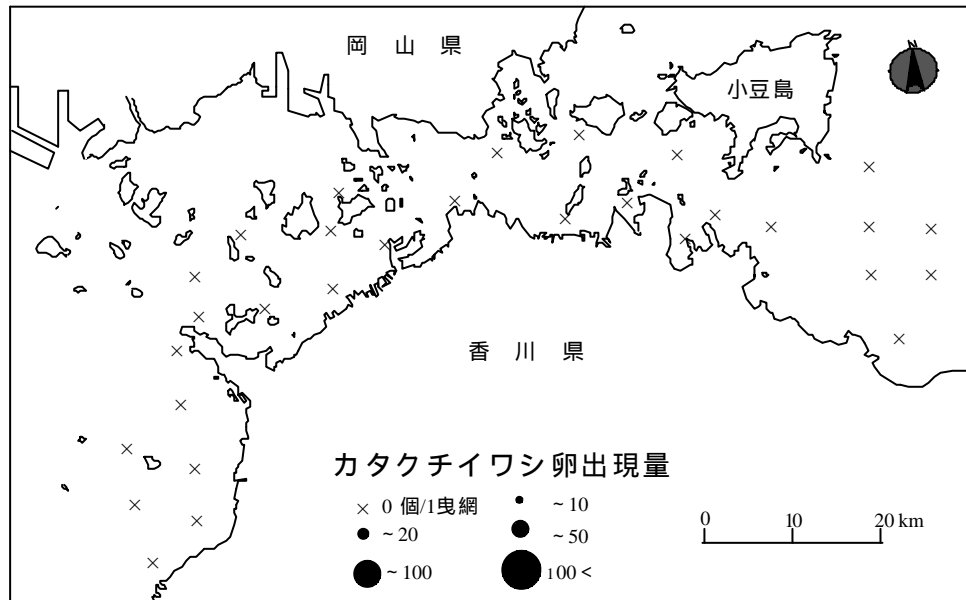
- 平年値が0の場合を示す。

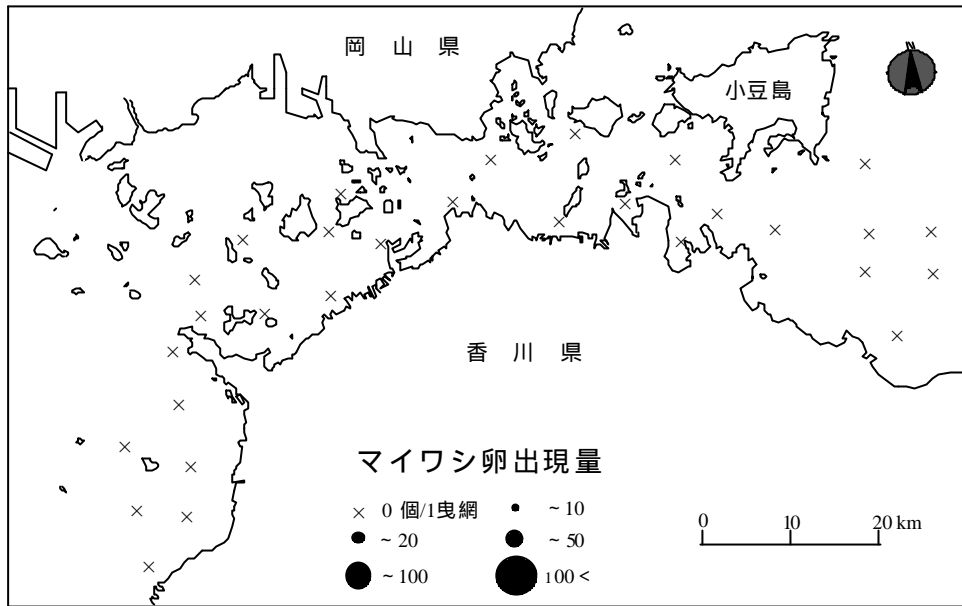
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成12（2000）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成12（2000）年度

カタクチイワシ、マイワシの卵稚仔は、全ての調査地点で採集されなかった。





## 2. 漁況

1月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網では主にウシノシタ類、シャコ、アカガイが漁獲されているが、全般的に低調である。
備 讃 瀬 戸	底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイが漁獲されている。イイダコは少し増えてきているが、前年より依然少ない。 中讃・高松沖のタイラギ潜水器漁業の漁獲量は、むき身で 40 ~ 80 k g / 日・隻であり、大型貝が多いものの、前年より量は多く価格が安い。 高松沖のイカナゴ込網は、前年並みである。
燧 灘	底びき網では主にウシノシタ類、マコガレイ、シャコ、フグ類が漁獲されている。この時期としては珍しいカタクチイワシの中羽が底びき網で漁獲されている。